

日本放送協会 理事会議事録

(平成29年 5月30日開催分)

平成29年 6月16日(金)公表

<会議の名称>

理事会

<会議日時>

平成29年 5月30日(火) 午前9時00分～9時20分

<出席者>

上田会長、堂元副会長、木田専務理事、児野専務理事・技師長、
根本理事、松原理事、荒木理事、黄木理事、大橋理事、菅理事、
中田理事

<場所>

放送センター 役員会議室

<議事>

上田会長が開会を宣言し、議事に入った。

付議事項

1 審議事項

(1) 職務権限事項等の改正について

2 報告事項

(1) 技研公開2017実施結果について

(2) 考査報告

(3) 放送番組審議会議事録(資料)

議事経過

1 審議事項

(1) 職務権限事項等の改正について

(経営企画局)

職務権限事項等の改正について、審議をお願いします。

今回は、職務権限事項、一般職（Sグレード）権限・名称に関する規程、およびその他の規程についての改正です。

第1に、職務権限事項についてです。平成29年度組織改正に関する項目については、考査業務体制の再編に合わせた権限整備や、経理局、報道局、技術局、放送技術局の各業務体制の再編に合わせた権限整備に伴う改正を行います。このほかに、編成関係業務、個人情報保護関係業務、営業関係業務、発明考案等関係業務に関する権限の整備や、関連団体の事業を所管する部門の指定などを行います。

第2に、組織改正に伴い、一般職（Sグレード）の権限・名称に関する規程を見直します。

第3に、組織改正に伴い、その他の規程の改正などを行います。

本件が決定されれば、一部を除き、29年6月9日付で実施します。

(会長) ご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

2 報告事項

(1) 技研公開2017実施結果について

2017（平成29）年度の放送技術研究所（技研）公開の実施結果について、報告します。

今年の技研公開は5月23日～28日で、そのうち25日～28日の4日間は一般に公開しました。来場者は6日間を通して、昨年とほぼ同規模の2万194人でした。

今年は、「2020年へ、その先へ、広がる放送技術」をテーマに、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年をターゲットにした研究開発と、さらにその先を見据えて取り組んでいる研究を中心に、何のための技術か来場者がわかるように、AI技術を活用して番組制作を支援する「スマートプロダクション」、テレビとIoT機器との連

携によって放送サービスを広げていく「インターネット活用技術」、「東京オリンピック・パラリンピックに向けた技術」、「フルスペック 8 Kスーパーハイビジョン」、「立体テレビ」、「次世代デバイス」の6つのゾーンに分け、最新の成果30項目、ポスター10項目、体験型4項目を展示しました。

エントランスでは、SNSや自治体等が提供するデータから、迅速かつ正確にニュース性の高い情報を特定して自動抽出するシステムや、競技中のボールの軌跡やスピードなどを画面上にリアルタイムでCG合成する技術などを展示しました。

また、フルスペック 8 Kの制作システム機器や、緑色の表現領域を大幅に拡大した高色純度の有機ELデバイスなど、基礎から応用まで各研究テーマで着実に研究を進めていることを紹介しました。さらに、土・日曜日は、講堂でバイシクルモトクロスとスケートボードのオリンピック有力候補選手による実演とフルスペック 8 K制作システムでライブ撮影する実験を行い、2020年に向け8 K制作の可能性を検討するよい機会となりました。

このほか、25日には岩浪剛太氏（株式会社インフォシティ代表取締役）とDavid Wood氏（EBU技術顧問）による基調講演を行い、26日には注目の高い「AI」「インターネット」「スーパーハイビジョン」をテーマとした3つのシンポジウムを開催し、聴講のための列ができるなど、いずれも好評でした。

来場者からは、「放送技術の未来を感じることができた」、「工夫されていて、知識がなくても楽しめた」などの声がありました。アンケート結果では、8 Kスーパーハイビジョンやインターネット活用技術への期待のみならず、次世代デバイスへの期待も多く寄せられ、研究開発について幅広く好意的な評価をいただきました。

（2）考査報告

（考査室）

平成29年4月17日から5月23日までの間に放送した、ニュースと番組について考査した内容を報告します。

この期間に、国内放送番組では、ニュース21項目、番組83本の考査を実施しました。

ニュースの主な項目としては、韓国の大統領選挙で北朝鮮に融和的なムン・ジェイン氏が当選し、9年ぶりに革新政権が誕生したこと、EUからの離脱や移民対策が争点となったフランス大統領選挙の決選投票で、親EUのマクロン氏が史上最年少の大統領に選ばれたこと、安倍首相が憲法改正について平成32年の施行を目指す意向を表明したこと、秋篠宮ご夫妻の長女の眞子さまが、大学時代の同級生の一般男性と婚約されることになったことなどがありました。

番組では、「護憲」と「改憲」をめぐるさまざまな揺れ動いた人々の潮流をたどることで日本社会の現在地を探った、NHKスペシャル「日本国憲法70年の潮流—その時、人々は—」（5月6日放送）、NHKが行った世論調査の結果から考える、クローズアップ現代+「沖縄復帰45年 深まる本土との“溝”」（5月15日放送）、日本人の名前に秘められた「驚きの物語」を探る新番組、「人名探究バラエティー 日本人のおなまえっ!『〇子さま』」（総合・4月20日放送）、ピンチで下された選択や決断を読み解き、大逆転のワケに迫る開発番組、「逆・転・人・生」（総合・5月8日放送）などの番組を考査しました。

また、国際放送では、外国人向けテレビ国際放送「NHKワールドTV」のニュース4項目と番組2本の考査を実施しました。考査したのは、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故からの復興の現状や課題、東北の魅力や文化・産業について、仙台、青森、福島の3局と連携しながら3日にわたり現地から中継で伝えた「NEWSLINE」（日本時間4月17日放送ほか）、落語家がオリジナル落語を作るために伝統文化が根付く地を訪問して日本の魅力を発見する開発番組「RAKU×GO」（日本時間5月7日放送）などです。

考査の結果、これらの一連のニュース・番組は、放送法、国内番組基準、国際番組基準等に照らし、妥当であったと判断します。

（3）放送番組審議会議事録（資料）

編成局と国際放送局から、中央放送番組審議会、国際放送番組審議会、全国の地方放送番組審議会（関東甲信越、近畿、中部、中国、九州沖縄、東北、北海道、四国）の平成29年4月開催分の議事録についての報告。
注：放送番組審議会の内容は、NHKのホームページ「NHKオンライン」の「経営情報」のなかに掲載しています。

以上で付議事項を終了した。

上記のとおり確認した。

平成29年 6月13日

会 長 上 田 良 一